

カンボジアの静かな選挙

——2018 年総選挙とそれに至る道のり——

初鹿野 直美 編



情報分析レポート No.31

カンボジアの静かな選挙

——2018 年総選挙とそれに至る道のり——

初鹿野 直美 編

アジア経済研究所
IDE-JETRO

目 次

まえがき

序 章 カンボジアの 2018 年国民議会議員選挙に

いたるまでの経緯……………初鹿野直美…1

はじめに 1

第 1 節 カンボジアのこれまでの総選挙と

人民党のライバル政党の変遷 2

第 2 節 2013 年総選挙後のカンボジア

——「改革」と締め付け—— 7

第 3 節 カンボジアを取り巻く国際環境 17

第 4 節 本書で扱う論点 20

第 1 章 2018 年総選挙——参加政党の公約と選挙の結果——

……………初鹿野直美・新谷春乃…23

はじめに 23

第 1 節 2018 年総選挙に参加した政党 24

第 2 節 選挙結果 30

第 3 節 当選議員たちの顔ぶれ 39

おわりに 41

第 2 章 カンボジアの選挙をめぐる改革……………原田至郎…51

はじめに 51

第 1 節 選挙にかかわる諸要素と本稿の視角 52

第 2 節 NEC 改革 55

第 3 節 選挙人名簿の問題と刷新 58

第 4 節 投開票および集計における従来の課題 62

第 5 節 2017 年クム・ソンカット評議会選挙における改善 67

第 6 節 2018 年国民議会議員選挙における後退と改善 70

おわりに 73

第3章 若年層に対する人民党の諸戦略——締め付け， 取り込み，記憶の政治——……………新谷春乃…	81
はじめに	81
第1節 若者による政治発信とソーシャル・メディア に対する締め付け	82
第2節 人民党による若年層の取り込み戦略	85
第3節 記憶の政治	86
第4節 静かな選挙	91
おわりに	92

第4章 新しい5年間の船出——野党との「対話」の行方と 政権の方向性——……………初鹿野直美…	97
はじめに	97
第1節 選挙後に起きた「対話」へのシフトと反応	98
第2節 新政権を担う顔ぶれと国軍人事への影響	101
第3節 新内閣の政策	104
おわりに	108

〔注〕本文中でのクメール語（カンボジア語）の表記について

人名の表記については、できるかぎり実際の発音に近い音を片仮名で表記することとした。ただし、実際には発声しない末尾の K, S, T の綴りは、原語表記の再現性を考慮して、それぞれク, ス, トと表記した。なお、フン・セン（フン・サエン）、ヘン・サムリン（ヘーン・ソムルン）などの著名な政治家については、すでに日本の新聞報道などでよく使われている表記を優先した。

地名の表記については、実際の発音に近い表記を試みた『アジア動向年報』での表記に準じた。また、その他のクメール語名詞を使用する場合も、実際の発音に近い音での表記を優先した。たとえば、本書では下位の地方自治体をソンカットと表記したが、多くの文章でサンカットと表記されるものと同義である。

クメール語の文献・資料名については、第8回国連地理的名称標準化会合にてカンボジア国土管理・都市計画・建設省が提出した Ith Sotha. 2002. “Geographical names of the Kingdom of Cambodia / submitted by Cambodia.” (<https://digitallibrary.un.org/record/602024>) にまとめられた表記方法に則ってアルファベット表記に翻字した。

〔執筆者紹介〕（執筆順）

はつかのなおみ

初鹿野 直美 （序章，第1章，第4章）

アジア経済研究所 地域研究センター

カンボジアをフィールドに，国際協力や移民労働者問題に関心を持つ。著作に「カンボジアの移民労働者政策：新興送出国の制度づくりと課題」（山田美和編『東アジアにおける移民労働者の法制度：送出国と受入国の共通基盤の構築に向けて』アジア経済研究所，2014年），「きこえるのは誰の声：ラタナキリ州の先住民と土地問題を支援する人たち」（青山和佳・受田宏之・小林誉明編著『開発援助がつくる社会生活：現場からのプロジェクト診断（第2版）』大学教育出版，2017年）など。

はらだしろう

原田 至郎 （第2章）

東京大学大学院情報学環准教授

テーマはコンピュータと国際政治。近年はカンボジアにおける選挙に関心を持ち JICA 調査団などにも参加。カンボジアに関わる公開著作に「クメール文字による情報交換基盤の整備：技術的側面と国際標準化制度に関わる問題」（猪口孝編『アジア学術共同体：構想と構築』NTT 出版，2005年）など。

しんたにはるの

新谷 春乃 （第1章，第3章）

東京大学大学院総合文化研究科博士課程

専門はカンボジア現代史。著作に「クメール共和国期（1970-75年）における自国史の再編：体制転換後の政治と言論環境に着目して」（『東南アジア：歴史と文化』東南アジア学会，2018年），「現代カンボジアにおける政治指導者像構築の試み：国定歴史教科書と2013年選挙キャンペーンの分析を中心として」（『AGLOS：Journal of Area-Based Global Studies（Special Edition 2014）』上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科，2015年）など。

【表紙写真】

(上右) フンセン首相の巨大看板 (2018 年 9 月初鹿野直美撮影, シハヌークビル)

(上中) 投票後にインクをつけた指 (2018 年 7 月新谷春乃撮影, プノンペン)

(上左) 中国人観光客でにぎわうカジノホテル (2018 年 7 月初鹿野直美撮影, プ
ノンペン)

(下) 人民党選挙キャンペーンの様子 (2018 年 7 月初鹿野直美撮影, プノン
ペン)

(裏) プノンペン駅前の投票所 (2018 年 7 月新谷春乃撮影, プノンペン)

[情報分析レポート No.31]

カンボジアの静かな選挙——2018 年総選挙とそれに至る道のり——

2020 年 1 月 31 日発行

編 者 初鹿野 直美

発行所 アジア経済研究所

独立行政法人日本貿易振興機構

千葉県千葉市美浜区若葉 3 丁目 2 番 2 〒261-8545

学術情報センター成果出版課 電話 043-299-9735

FAX. 043-299-9736

E-mail: syuppan@ide.go.jp

<https://www.ide.go.jp>

ISBN978-4-258-30031-0

C3331



アジア経済研究所
IDE-JETRO